

ウェブサイト

- 国立がん研究センター がん情報サービス
<https://ganjoho.jp/public/index.html>

各種のがんについて、がんとの向き合い方、診断・治療方法、緩和ケアについて、病院検索など、さまざまな情報を調べることができます。

- 大阪国際がんセンター がん対策センター「大阪 がん情報」

<http://www.mc.pref.osaka.jp/ocr/>

大阪府のがん診療の状況や、がん診療拠点病院に関する情報などを紹介しています。病院の検索もできます。

- 大阪がんええナビ

<http://www.osaka-anavi.jp/>

患者・家族・遺族と患者会支援団体、がんに関わる医療者らにより設立された、がん情報の総合的なポータルサイト。大阪府下の幅広いがん情報を配信しています。

がん相談支援センター

がんに関することなら、誰でも、どんなことでも相談できる、がんの相談窓口です。

- 大阪労災病院

月～金曜日：8時15分～17時00分

堺市北区長曾根町1179-3

TEL:072-252-3561 FAX:072-255-8203

- 堺市立総合医療センター

月～金曜日：9時00分～17時00分

堺市西区家原寺町1-1-1

TEL:072-272-1199 FAX:072-272-9911

* 手話通訳者がいます

まちライブラリープラザひといき

がん関係の本を中心に利用できます。

水・金・土曜日：10時～15時(土曜は12時)

堺市堺区旭ヶ丘中町4-3-1健康福祉プラザ4階

TEL:072-275-5027 FAX:072-243-2222

がん検診を受けるには

症状のない早期にがんを発見し、早期に治療することで、がんによる死亡のリスクを軽減できます。検診を定期的に受ける習慣をつけましょう。

堺市では、子宮がん検診を20歳以上の偶数年齢の市民(女性のみ)を対象に実施しております。「受診促進強化期間」として、2022年3月31日まで無料で受診できます。実施医療機関や詳しい検査方法は、がん検診総合相談センターにお問合せください。検診に不安のある場合は、ご相談ください。

連絡先	
がん検診総合相談センター (コールセンター)	Tel 072-230-4616 Fax 072-230-4636
堺保健センター	Tel 072-238-0123 Fax 072-227-1593
ちめが丘保健センター	Tel 072-241-6484 Fax 072-247-3201
中保健センター	Tel 072-270-8100 Fax 072-270-8104
東保健センター	Tel 072-287-8120 Fax 072-287-8310
西保健センター	Tel 072-271-2012 Fax 072-273-3646
南保健センター	Tel 072-293-1222 Fax 072-296-2822
北保健センター	Tel 072-258-6600 Fax 072-258-6614
美原保健センター	Tel 072-362-8681 Fax 072-362-8676

本リーフレットは「継続的なワークショップ運営による情報弱者向けのがん情報ツールの作成と普及」事業班<2014-2016年度>において初版作成



正しく知ろう

子宮がん



協力：国立がん研究センター
慶應義塾大学

編集：堺市
堺市立健康福祉プラザ
大阪労災病院
堺市立総合医療センター

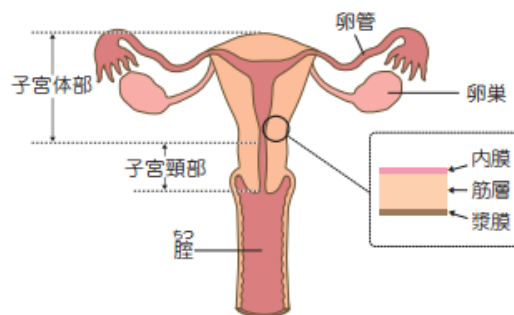
発行：堺市立西図書館
堺市西区鳳南町4-444-1
TEL 072-271-2032

<http://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/>

2020年9月1日改訂

子宮がんとは・・・

子宮がんには、子宮頸がんと子宮体がんがあります。両者は、発生する部位が異なるだけでなく、治療方針や予後が大きく異なります。



国立がん研究センターがん情報サービス がんの冊子「子宮体がん」第3版より引用

【子宮頸がんの特徴】

子宮の入り口付近に発生し、通常の婦人科の診察で観察や検査がしやすく、早期発見が可能です。早期発見すれば、比較的治療しやすく予後良好です。最近では、若年層（20歳代後半～40歳代前半）に増加傾向です。ヒトパピローマウイルス（HPV）感染の関与が指摘されています。

【子宮体がんの特徴】

胎児を育てる子宮体部の内側にある子宮内膜から発生するもので、子宮内膜がんとも呼ばれます。40歳代から増加し、50歳～60歳代の閉経前後に最も多くみられます。食生活の欧米化などに伴い増加傾向です。

最もよくみられる症状は不正出血です。また、月経不順・下腹部の痛み・排尿時の痛みなどが出ることもあります。症状に気づいたら早めに受診することが子宮体がんの早期発見につながります。健康診断で行われる検査は子宮頸がんの検査を指すことが多いので、注意が必要です。

※さらに知りたい場合は、右記の資料をご参照下さい。

ブックリスト（西図書館選定）まちライブラリープラザひといき・堺市立図書館でご利用いただけます

子宮がんってどんな病気

○『子宮頸がん』第4版(2019年10月)『子宮体がん』第4版(2019年7月) 国立がん研究センター がん対策情報センター

国立がん研究センターがん対策情報センター発行の小冊子。受診から診断、治療、経過観察への流れをまとめたもの。【※墨字版・でんし冊子・音声版(旧版)・点字版(旧版)】

○『子宮がん 頸がんと体がんの診療・治療・生活 よくわかる最新医学』小田 瑞恵・斎藤 元章／著 主婦の友社 2018年4月

子宮頸がんと子宮体がんの検査・診断から、治療法、退院後のケア、治療後の生活までわかりやすく解説。

○『「子宮がん」と言われたら・・・お医者さんの話がよくわかるから安心できる』瀧澤 憲／監修 保健同人社 2013年2月

子宮頸がんと子宮体がんの違いから、発生する仕組みや症状、検査、治療法まで詳しく解説。治療後の経過観察の方法や再発の早期診断についても説明。

子宮がんの治療について

○『患者さんご家族のための子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん治療ガイドライン』第2版 日本婦人科腫瘍学会／編集 金原出版 2016年4月

患者と家族向けの治療ガイドライン解説書。患者や家族にとり切実な問題や必要な情報を図など交え説明。

○『患者必携 がんになったら手にとるガイド 普及新版』国立がん研究センター がん対策情報センター／編著 学研メディカル秀潤社 2013年9月

がんの診断や治療、療養生活で問題や不安が生じたときに必要とされる情報をまとめたガイドブック。【※墨字版・電子書籍(2017年2月発行)・音声版・点字版】

○『女性のがんと外見ケア』分田 貴子／著 法研 2018年9月

女性に多いがんの治療に伴う副作用について解説。また、肌や爪、頭髮、創あと、体型など、がん治療による見た目の変化への対処法をわかりやすく説明。

子宮がんの闘病記・がんを知る本

○『癌で妊婦で45歳です』森田 美佐子／著 文芸社 2019年1月

子宮頸がんと妊娠が同時に発覚。ハイリスク妊婦の著者は、がんの手術直後、がんが腺がんに行進し広範子宮全摘出と帝王切開での出産が決まる。仕事人間の著者が闘病しながら無事に出産するまでの記録。

○『よくわかるがんの話』①～③ 林 和彦／著 保育社 2019年10月

児童向けに書かれた本だが大人も知りたい「正しいがんに対する知識」をがん専門医が分かりやすく解説。

※墨字版・音声版・でんし冊子はがん対策情報センターホームページからダウンロードできます。
点字版は堺市立健康福祉プラザ内、視覚聴覚障害者センターでご利用いただけます。